

## —あおぞら—

### 第58回大気環境学会年会開催のご挨拶

第58回大気環境学会年会 年会長  
兵庫医科大学公衆衛生学 教授  
島 正之

第58回大気環境学会年会は、平成29年9月6日(水)から8日(金)までの3日間、兵庫県神戸市のポートアイランドにある兵庫医療大学にて開催されます。本年会では309件の一般研究発表(口頭発表181件、ポスター発表128件)のほかに、6つの特別集会(30講演)、8つの分科会(26講演)が予定されています。併設される環境機器展には37社・団体に出席していただき、最新の環境測定機器・技術等を紹介していただく予定です。

2日目午後の総会後には、前中央環境審議会会長である浅野直人先生(福岡大学名誉教授)に「今後の環境政策の方向—第五次環境基本計画案、長期低炭素ビジョンなどを踏まえて—」と題した総括的な特別講演をお願いしています。その後のシンポジウムでは「大気環境の安全とリスク」をテーマとして、専門の異なる4人の演者にそれぞれの立場からご講演いただきます。

さらに、1日目午後には「日中韓大気環境学会交流の第一歩として」をテーマとする国際交流シンポジウムを開催し、中国環境科学学会、韓国大気環境学会より研究者を招聘して、日本国内の研究者を交えて、日本、中国、韓国における研究成果をご紹介いただく予定であり、今後の学術交流の進展につながることを期待しています。また、3日目午後には、兵庫県、アジア太平洋地球変動研究ネットワーク(APN)、地球環境戦略研究機関(IGES)との共催により、中国からも研究者をお招きして、「PM<sub>2.5</sub>による大気汚染と健康影響～中国からの報告と日本の現状～」と題した市民公開フォーラムを開催します。これらの他に、特別集会でも、国内及び中国北京におけるPM<sub>2.5</sub>大気汚染の動向、大気汚染の健康影響、福島での原発事故による放射性物質の影響、大気環境研究へのドローン活用、光化学オキシダント汚染など、多くの方にとって関心の高いテーマが幅広く取り上げられており、いずれも充実した内容の発表、討論が行われることが期待されます。

年会は、大気環境をめぐる多くの分野の専門家が一堂に会して、日頃の研究成果を発表し、討論するとともに、貴重な情報交換を行う機会でもあります。ぜひ専門領域の異なる参加者とも積極的に交流し、活発な議論を交わすことにより、今後の研究の発展につながることを念願しています。

兵庫県での年会の開催は、第9回(1968年)、第20回(1979年)に続いて3回目、38年ぶりですが、今回の会場は神戸港内の人口島であるポートアイランドにあります。今年は神戸港開港150周年を迎えることから、周辺では様々な記念イベントが行われています。また、神戸市の中心である三宮や神戸空港からのアクセスも優れていますので、年会参加の合間には異国情緒が漂う港町の魅力をお楽しみください。

多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。